

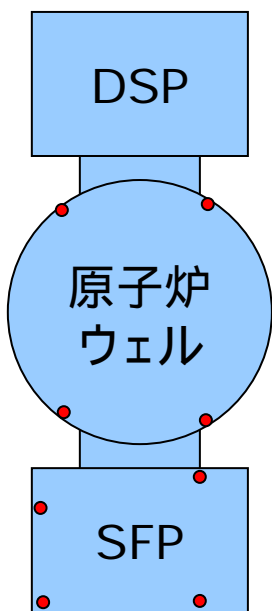
【調査目的】

4号機燃料取り出し用カバー設置工事の本格着工にあたり、使用済燃料プール(SFP)、原子炉ウェルの水平度を調査し、原子炉建屋の健全性を再度確認する。

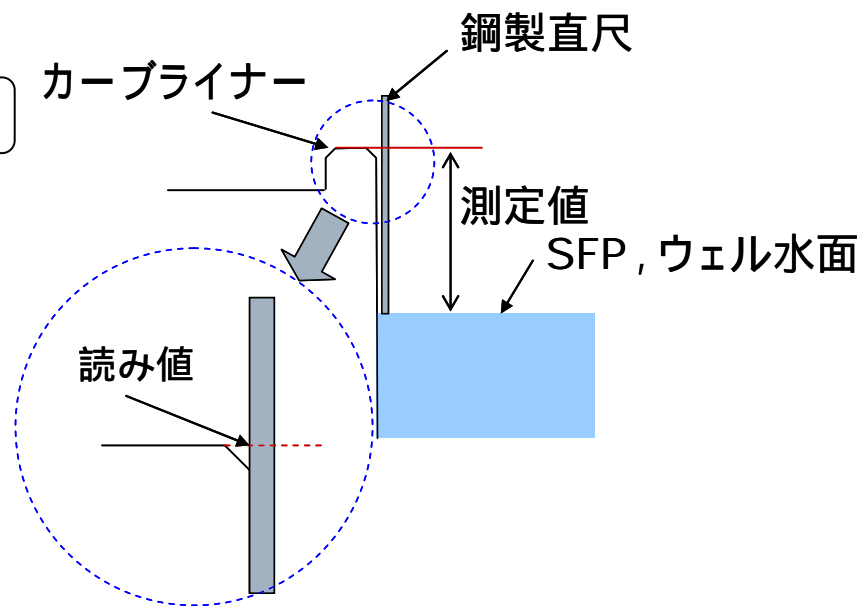
【調査方法】

原子炉建屋オペレーティングフロアと使用済燃料プール(SFP)、原子炉ウェル水面間の距離を測定する。

< 測定位置 >



< 測定方法 >



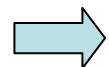
【調査結果】

単位：mm

原子炉 ウェル	前回 測定値 (H24.2.7)	今回 測定値 (H24.4.12)	S F P	今回 測定値 (H24.4.12)
	4 6 2	4 7 6		4 6 8
	4 6 3	4 7 5		4 6 8
	4 6 2	4 7 5		4 6 8
	4 6 4	4 7 5		4 6 8

不具合によるSFP
循環冷却系トリッ
プ時（4月12日
発生）のデータ

前回測定結果(H24.2.7)と同様に、測定位置付近のガレキの影響およびカーブライナー形状による多少の測定誤差は存在すると考えられるが、カーブライナー上端から測定した水位レベルに有意な差は確認されなかった。



原子炉建屋5階において、床面と使用済燃料プール、原子炉ウェルの水位は水平であった。